

姉妹・友好都市

SISTER CITIES NEWS

ニュース

第 32 号

平成11年5月8日発行

編集・発行

茨木市国際親善都市協会



大垣団長を囲んで(茨木市スポーツ親善訪中団)

目次

- 茨木市スポーツ親善訪中団帰国報告、会員募集、青少年活動室 P.2・3
- JICA研修員と市民が「ふれあい交流」 P.4
- '99国際交流の集い P.5
- 内海町への訪問団に参加して、書・画交換で交流 P.6
- 第15回英語スピーチ大会報告、'99俳句コンテスト P.7
- 姉妹都市活動室、寄附、国際交流の足あと P.8

一人ひとりが親善大使

茨木市スポーツ親善訪中団帰国報告



安慶市の水泳選手と



安慶市の卓球選手と

今回、大垣茨木市体育協会副会長を団長とするスポーツ親善訪中団(水泳12人・卓球10人)の随行職員として、3月24日～30日、友好都市・安慶市を訪問しました。

安慶市はもとより、中国の広さと人の多さ、建物のスクラップアンドビルド、車の運転には驚かされました。

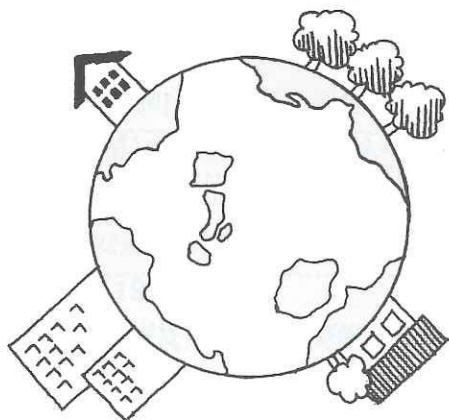
さて、安慶に到着した選手達は、それぞれの試合会場で練習すると、旅の疲れが癒されたかのように一気に元気になりました。

翌日、安慶・茨木友好天象館での開会式の後、お互いの選手たちを応援しあって予選を戦い、2日目の決勝戦では、水泳女子で団体優勝、女子卓球個人戦で2位と健闘するなど、スポーツ親善を図り立派

な成績を取ってくれました。この後、成績発表・表彰式が無事終了し、最後の歡送会では両チームの選手たちの笑い声や、フラッシュの嵐で言葉の違いを感じさせず楽しく過ごし、一人ひとりが親善大使としての役割を立派に担ってくれたことに安堵するとともに、選手たちの積極さに感心いたしました。

また、安慶市長への表敬訪問や開会式の模様は地元テレビで放映され、訪中団は感激して放送に見入りました。他に、南京、蘇州等を見学し、中国の歴史を肌で感じ取り貴重な体験をしたことと思います。また、彼らがこの訪中を機に、友好発展のための担い手となってくれることを確信します。

ただただ安慶市の人々の「熱烈歓迎」に感謝いたします。安慶、ありがとう。(岡部眞治)



● 会 員 募 集 ●

本協会では、姉妹、友好都市交流をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方々の入会をお待ちしています。

会員には、春と秋に発行する協会報や、協会が催す交流行事のご案内をいたします。

〈年会費〉個人会員(一般) 2,000円 (学生) 1,000円

団体・法人会員 5,000円

〈申込先〉協会事務局(市役所南館8階自治振興課国際交流係)

☎20-1604



スリルとサスペンスの 初海外旅行

養精中学校3年 谷口 聡美

出発の前日は不安で一杯でした。知らない人達と一緒にやっつけていけるか、初めての外国で無事に帰ってこられるか、そして、一番不安にさせたのは言葉が通じないことでした。

けれども、中国の人の歓迎を受けていると、不安も段々無くなってきました。最初は下手な中国語も何回も言っていると上手になったような気がしてきて、すっかり中国の生活に慣れてきた3日目、いよいよ親善試合です。

本場中国で試合ができてうれしい反面、強い相手だろうなと思い、緊張で一杯でした。実際試合をしてみると、やっぱりみんな強く、でも、ダブルスは3セットまでもつれ込んで白熱した試合ができたので、とても満足でした。



楽しかった中国

平田中学校2年 小寺 春香

安慶への旅行はお兄ちゃんが行って、楽しかったと聞いたので、友達を誘っていきました。

安慶のプールを見た時、「えっ!」と思いました。緑色とは聞いていたけど、本当に緑色だったからです。初め泳ぐ時は少しためらったけど、ちょっと泳げば慣れました。けど、体が重くて、スピードがなく、いちかばちかでレースをしようと思っていました。1日目は、50m自由形と200mメドレーリレーで、両方とも一番になり、とてもうれしかった。2日目は、100m自由形と200mリレーで、これも両方ともダントツでした。

試合が終わった後は、現地の選手達と交流し、わけの分からない中国語やジェスチャーで話しをしたり、写真もたくさん撮りました。



WE ARE FRIENDS! あなたも
青少年活動室へ



ハロウィーン、クリスマスなど季節のイベントを楽しみながら、学校で習った英語を実際に試してみませんか? 毎月第3日曜日の午後2時~4時、楽しい企画を用意してご参加をお待ちしています。講師は久徳ウエンディーさん。英語に慣れ親しむだけでなく、外国の習慣、お祭りも体験できます。

参加費は無料、福祉文化会館かクリエイトセンターで行っていますので、気軽にご参加下さい。

問合せ先: 事務局 ☎20-1604



竜王山荘で



文化財資料館見学



研修員と楽しいおしゃべり



賑やかなティーパーティー



西河原市民プール見学

JICA

研修員と市民が「ふれあい交流」

— 公共施設等の見学を通じた国際交流 —

平成11年3月、暦の上では春とはいえ、当日は非常に肌寒い日でした。研修員18名、市民18名、ボランティア通訳等計44名が参加。今回が5回目。

毎回、申込はすぐに定員に達し、キャンセル待ちがでるほど市民の皆さんから好評を得ています。

また、今回は、研修員の大半が男性、市民参加者の大半が女性ということもあり、「国際お見合い」のごとく、出発と同時にバスの中は話声に包まれ、初対面の緊張感から和やかな雰囲気へと変わりました。

最初の「文化財資料館」では、参加者全員が茨木の歴史や文化財の説明を熱心に聞き入り、展示品等を写真に取め、興味深く見学。

次の「竜王山荘」では、ほとんどの研修員が畳の部

屋を見て、我々も宿泊できるのか、料金割引は、と質問されていました。

その後の昼食は、各グループに分かれ、様々な話題で盛り上がっていました。

3つ目の見学先、「西河原市民プール」では、温水プールやサウナ施設、トレーニングルームを見学。研修員から泳ぎたいとの希望があり、実現はできませんでしたが、全員が楽しそうに見学されました。

最後は、大阪国際センターにおいて、ティーパーティーを開催。自己紹介や各国の歌が飛び出すなど、賑やかな中で市民との別れを惜しむ光景が印象的な「ふれあい交流」でした。

皆さんもぜひ一度ご参加下さい。

去る1月23日(土)、市役所南館10階大会議室において「'99国際交流の集い」が、盛大に開催されました。

今回で7回目を数え、回を重ねるたびに参加者数も増え、今回は、180人もの参加がありました。

集いは、3部構成で行われ、第1部のオープニングは、東雲中学校で英語指導助手をされているスコット・スコーハイムさんの歌「皇帝ワルツ」で幕が開きました。続いて、茨木市民謡民舞同好連盟における「筑子踊」が披露されました。

次に靖月会社中による「江州音頭」が始まると、茨木市民謡民舞同好連盟の方々と外国人の参加者の方々が大きな一つの輪になって「江州音頭」を踊りました。

第2部の外国人による日本語スピーチ大会には11カ国15名の方々が参加されました。テーマも「紛争について」から「我が家の食事」までとてもバラエティーに富んだ内容で、中には、紙芝居を取り入れたスピーチもありました。

第3部の交流会では、各スピーチ大会発表者を囲む形で行われ、終始和やかな雰囲気の中、時間の経つのも忘れる程楽しい交流となりました。

'99

国際交流の集い



踊りの輪が広がった江州音頭



素晴らしい歌声のスコットさん



日本語スピーチ大会出場者



茨木市民謡民舞同好連盟の皆さん



盛り上がった交流会

人情を感じた旅

内海町への訪問団に参加して

「オリーブの島」、「二十四の瞳の島」、子供の頃から訪ねたいと思っていた小豆島・内海町に、11月12～13日、市民訪問団として私達ガールズスカウト大阪53団アダルト部門の7名も入れていただきました。

内海町役場の方のご案内で吉田ダム、二十四の瞳の映画村、マルキン記念館、そうめん工場、煮干し工場、名高い寒霞溪、そして町長さん、議長さんの



内海町長・議長さんと



赤松さん(左から3番目)

赤松 多津子

お出迎えを受けたオリーブ公園等を訪ねました。壺井栄氏の話の前には、茨木市出身の川端康成氏の名を出される等茨木市への関心の深さや、町の方の親身のおもてなしに感心しました。また、海の家での宴には、とれたての太刀魚、鯛等が特別に差入れされて感激いたしました。

今回の内海町訪問は、普通の旅では味わえない土地の方の温かい人情を感じた旅でした。



買物を楽しむ訪問団員

本協会では毎年、市内の幼稚園児・小・中学生の絵画と書道の作品を3つの姉妹・友好都市の児童の作品と交換し、展示しています。

作品はそれぞれの市・町の公共施設等で展示され、多くの方々が楽しく鑑賞されています。

書画交換で交流



ミネアポリス市庁舎での展示



内海町での展示



安慶市菱湖公園登石如記念館での展示



第15回 英語スピーチ大会報告

昨年11月7日に行われた第15回英語スピーチ大会には、20人中・高校生の参加がありました。

例年に比べ、高校生の出場者が少なかったものの、身振り手振りをまじえた熱のこもったスピーチばかりでした。聴きに來られた方からは、「皆さんの一生懸命な姿に感動し、自分も出場してみたくなった」との感想がよせられました。

今年も11月3日に開催しますので、中・高校生の皆さんはぜひご参加下さい。

【中学生の部入賞者】

- 第1位 四元 章雄さん
- 第2位 南 可奈さん
- 第3位 松木 奈生さん

【高校生の部入賞者】

- 第1位 橋本志穂里さん
- 第2位 山崎由美子さん
- 第3位 三好 頌子さん



入賞者の皆さん

'99 俳句コンテスト

ミネアポリス市・茨木市文化協会が主催する、英語の俳句コンテストも今回で7回目となりました。

毎回、ミネアポリス市の幼稚園児から大人まで幅広い参加があり、今年も約400点の応募がありました。

英語の俳句は、5・7・5の音節で表現されています。

今年のテーマは「青」。

空の青、月の青、花の青など様々な青が描かれ、なかには、優うつな気分を青で表現した発想豊かな俳句も寄せられました。

優秀作品の一部をご紹介します。

【幼稚園・小学生の部】 Vu Truong

Drips and drops of blue
Slow, waters fall to the ground
Slides softly off you
ぼたぼた青い雨だれ
ゆっくり水が地面に落ちる
君から離れて滑っていく雨だれ

【中学生の部】 Dan Dickinson

A wispe of a cloud
Is the only distraction
Of a perfect blue sky
一すじの細長い雲
真っ青な空の
たった一つの邪魔者

【高校生の部】 Mike Shanor

Beautiful blue sky
You smother me with fresh air
Upon these moutains
素晴らしい青空
私を気持ちの良い大気で包み込んでくれる
この山頂で

Ibaraki Intercultural Network 茨木市姉妹都市活動室

ミネアポリス市民との交流を目的に発足し、既に20年近くボランティア通訳等の活動を続けています。最近、市内在住の諸外国の方々との交流も加えました。彼らとの交流を通じ様々なことを教わりながら、私達は地域先住民として、彼らの茨木での生活のお役に立つよう、また彼らの日本滞在がより楽しく有意義なものとなるようお手伝いができればと願っています。

例会では外国人ゲストを招き、世界のホットな話題を英語で語り合っています。

例会：毎月第1木曜日 10:00～12:00
 第3土曜日 14:00～16:30(見学歓迎)
 会場：クリエイトセンターまたは福祉文化会館
 年会費：正会員2,000円 準会員1,000円
 連絡先：(0726) 22-9246岡田、または協会事務局



ミネアポリス市からの訪問団員に日本語を指導 30

寄 附

茨木市の国際交流事業の推進のためにと次の方から温かいご寄附をいただきました。

ご厚志に心からお礼申し上げます。

(12月～4月敬称略)

〈市へ〉 社団法人茨木カンツリー倶楽部

(1,000万円)

茨木市における国際交流の足あと (第30号以降の経過)

平成10年(1998年)

- 6月 内海町「安田踊り保存会」一行22人全国盆踊りコンクール大会のため来茨
- 7月 ミネソタ州日本語村で福田正之氏、岡坂健太郎氏カウンセラーとして日本語・日本文化を指導
- 8月 「少年少女洋上セミナー」に茨木市・内海町の小・中学生ほか267人参加
- 8月 「内海町サッカースポーツ少年団」一行23人来茨。
市内小学生サッカーチームと親善試合
- 9月 ミネアポリス市長など一行7人来茨
- 9月 「ミネソタ管弦楽団」茨木公演開催
- 10月 「茨木市民親善訪中団」一行17人安慶市訪問
- 10月 「ミネアポリス市民親善訪問団」一行47人来茨
- 11月 内海町長・議長、記念式典参加のため来茨
- 11月 「第15回英語スピーチ大会」開催
- 11月 「内海町への市民訪問団」一行21人内海町訪問
- 11月 安慶市書道家馬東昇夫妻来茨。展示会・講演会を開催



少年少女洋上セミナー



ミネアポリス市長を囲んで



馬東昇夫妻

平成11年(1999年)

- 1月 「国際交流の集い」開催
- 3月 「JICA研修員とのふれあい交流」実施
- 3月 「茨木市スポーツ親善訪中団」一行24人安慶市訪問